

第18回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

開催日：令和4年12月10日
会場：桃井第三小学校

みんなのしあわせを創るとは？自分の生き方を見つめよう

「みんなのしあわせを創る杉並の教育」、これは「杉並区教育ビジョン2022」で大切にしたい教育として掲げていることですが、一体どんなことなのか一人ひとりが考えていかなければいけません。今回の意見交換会では、桃井第三小学校の6年生が「自分のしあわせ」とは何であるかを考えながら、自分の生き方を見つめなおしました。



グループ活動の様子

①自分のしあわせを表す2つのキーワード

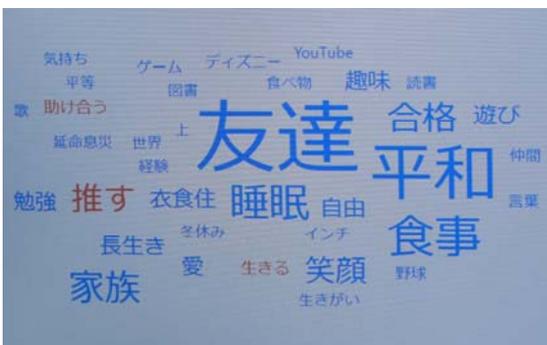
参加者は事前に「自分のしあわせ」を表すキーワードを2つ考えてきました。冒頭、先生たちが2つのキーワードを発表してくれました。「食事と癒し」、「笑顔と健康」、「自分と家族（縁）」、「やりたいことができることと笑い合うこと」と、先生によってさまざまなしあわせがあることが分かりました。

続いて、グループになって児童たちが自分の2つのキーワードを紹介し合いました。「時間とお金」、「友達と家族」、「学校に通うことと趣味に没頭すること」など児童もさまざまなキーワードを出し合いました。

「気持ちと言葉」と紹介した児童は理由を以下のように話していました。「たとえ物質的に豊かでなくても、気の持ちようでは豊かになれるから気持ち大切です。言葉は自分を表現して伝えるものであるから言葉もとても大切」。どの児童も自分の好きなことや大切なことについて、しっかりと理由を説明できていました。

グループ内でお互いのキーワードを共有した後に、みんなのキーワードを集約した図を使いながら、全体でキーワードの共有をしました。図を見ると、多くの児童が「友達」、「平和」、「食事」、「家族」、「睡眠」などを大切にしていることが分かりました。

みんなのキーワードを共有した後、感想などを何人かの児童が発表しました。「人それぞれいろいろなしあわせがあることが分かった」と話す児童もいれば、「自分と同じようなキーワードがあり、自分と同じようなことをしあわせに感じる人がいることが分かった」と話す児童もいました。



みんなのキーワードを集約した図。使用された数が多い言葉ほど大きく表示されています。

②みんなのしあわせのためにできること

続いて、みんながしあわせになるために自分に何ができるのかを考えていきました。児童一人ひとりが自分にできることを考え、ふせんに書き出し、ふせんを貼り出してグループ内で共有しました。ふせんの内容によって貼る場所を動かしながら、共通点を探したり、いくつかに分類したりするグループもありました。

「友達を大切にする」、「人にやさしくする」、「相手の気持ちを考える」など、まわりの人に対し何かをすることが大切という考えが多く出ていました。一方で、「自分の好きなことを探す」「自分のやりたいことをする」など、まずは自分がしあわせになることが大切であるとする児童もいました。

グループワークの後、何人かの児童が自分たちのグループで出た意見などを発表しました。「普段の生活を送ることが大切、生活リズムに気をつける」、「一人ひとりが夢をもつこと、そして友情を大切にする」、「平和のために、争いを無くすために自分たちにできることを探していきたい」など、グループによってさまざまな話し合いをしていたことが分かりました。



みんなのしあわせのためにできることをふせんに書いて、厚紙に貼って共有しました



発表の様子

意見交換会を振り返って

今回の意見交換会は総合的な学習の時間の「自分の将来を見つめる」というテーマの一環で実施しました。最後に先生が児童に向けて以下のように思いを伝えました。

「今日は正解のないことを考えてもらいました。とても難しかったと思います。難しいから、みんなで意見を出し合ってもらいました。今日だけでは分からなかったこともあったと思います。今日分からなくてもいいので、これからも考え続けてほしいと思います」。今回の意見交換会で考えた「みんなのしあわせとは何か」や「みんなのしあわせを創るために何をするか」という問いには正解があるわけではありません。正解がないことをなぜ考えるのか。それは考えることによって得る結論ではなく、考えること自体が大切だからだと思います。先生の思いを受けとめ、児童たちも考えることの大切さに気付いてくれたのではないかと思います。

第18回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

・開催日 令和4年12月10日

・参加者 桃井第三小学校6年生・学校運営協議会委員

令和5年2月 編集・発行 杉並区教育委員会 庶務課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111